

いなづま

ご挨拶

理事長 大倉 直

初秋の候、組合員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
又、平素より当組合の運営に対しまして、ご理解、ご協力を頂いておりますことに、厚くお礼申し上げます。



令和八年夏詣 函館乃木神社

撮影：伊東 照勝

今年の函館の六月～八月の平均気温はプラス一・三度、三十度以上の真夏日が七日間と昨年のプラス三・五度、二十七日と比べてあまり暑くなく、過ごしやすい夏だったと思います。
七月にAIによる性能評価テスト中に一二〇ものAIが勝手に掲示板をつくり暴走しました。アンソロピック社の安全研究者が「今後十年以内にAIが人類を滅亡させる可能性は十%以上」とSNSで発言し、一千万回以上閲覧され、世界に衝撃を与えております。これを受けてアンソロピック社のCEOは「制御不能を防ぐ措置を迅速に整備しなければならない」とAI開発を遅らせねばならない

と主張しており、オープンAI社、実業家マスク氏も賛同しておりますが、残念ながらトランプ大統領と中国は開発競争を中止する気はないようです。映画ターミネーターに登場する人口知能「スカイネット」の様なAIが誕生するのではと、心配で恐怖を感じております。

日本ではホルムズ海峡の閉鎖による、食品フィルム、包装資材の大幅な値上げの影響などで食料品の大幅な値上げラッシュが続いております。一方で「令和の米騒動」から二年、今年の新米は約四割近くも値下がりしており、消費者としては有り難いですが、農家の担い手が減少して、ようやく明るい兆しがみえてきているなか、米農家の方々には、経営状況が苦しくなり離農が増加する懸念が出ております。最低賃金が全国平均一七六円、北海道が一三二円にアップしておりますので、是非、政府は農家、物価高に苦しんで価格転嫁ができない業者に対して、何らかの対策を実施して頂きたいと思っております。

第五回電気工事技能競技北海道大会が六月二十七日、北海道札幌高等技術専門学院で開催されました。前回までは各十一単協、一名ずつ選手が出場していましたが、各単協の負担が大きいため、今回から道南・道央・道東・道北と四ブロックに分けて選手一名以上の参加で実施することとなり、わが道南からは苦小牧、(株)新興電気の佐藤直人さんが出場し、見事に優勝して、十一月二十五日開催の電気工事技能競技全国大会に出場することになりました。次回からは函館・室蘭どちらかの参加となりますので、積極的に出場して頂くことを宜しくお願い致します。

今年もあと三ヶ月少々となり、組合の事業も大きな事故、災害もなく、順調に推移しております。これから暮れの繁忙期に入ります。「無事故無災害」「安全施工」「車両安全運転」をこれまで以上に努めて頂くようお願い申し上げます。

最後になりますが各組合員の益々のご繁栄とご健勝を心よりご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

役員会だより

第一回役員会

八・五・七

一、経過報告

函館拓北電業(株)代表者逝去
阿部電気代表者逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

四、総務委員会事項

組合員の異動

定期健康診断の実施結果について

令和八年度(第七十八回)通常総会について

道工組令和八年度総代会について

電気工事業界人材確保事業について

第三回役員会及び北工連絡会並びに連絡協議会の開催について

組合創立八十周年記念事業について

事務局職員の賞与の支給について

事業委員会事項

電設業務研修会の開催結果について

二級引込線工事士・限定低圧計測器工事士認定講習・認定試験の開催結果について

イルミネーション工事決算報告について

組合員向け特別教育の実施について

家庭用エアコン据付工事講習について

電気工事士試験準備講習会の開催について

二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習の実施について

その他

引込線工事・計測器工事の単価改正について

大レクリエーション大会について

第二十三回道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦について

その他

第二回役員会

経過報告

函館地方電気工事協同組合事務局主任ご尊父逝去

八・五・二十六

(株)東栄電気工業代表者ご尊父逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

四、総務委員会事項

令和八年度(第七十八回)通常総会の開催について

事業委員会事項

函館工業高校電気情報工学科生徒インターンシップ現場実習の受け入れについて

第五回電気工事技能競技北海道大会について

業務用エアコン据付セミナーについて

その他

令和八年度組合員親睦・福利厚生事業について

第三回役員会

経過報告・無し

貸付報告・無し

各支部報告並びに提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催

総務委員会事項

令和八年度(第七十八回)通常総会の開催結果について

旅費規程の改定について

事業委員会事項

函館工業高校電気情報工学科生徒インターンシップ現場実習受入について

安全大会の開催について

組合員への特別教育の実施について

測定器具の校正の事業化について

その他

道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦について

函館港まつり「ワッショイはこだて」について

第四回役員会

経過報告・無し

(株)松山電気工業代表者ご母堂逝去

貸付報告・無し

各支部報告並びに提案事項

八・八・十九

組合行事

各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項

(1) 組合員の異動

(2) 「いなづま」一六〇号の発行について

(3) 支部再編成と定款変更、各種規約等の変更についての今後の取り組みについて

五、事業委員会事項

(1) 二級引込線工事士・計測器工事士安全技能講習(無墜落昇降柱法訓練)の実施結果について

(2) インターンシップの実施結果について

(3) 安全大会の開催結果について

(4) 港まつりへの参加結果について

(5) 一級引込線工事士更新講習の実施について

六、その他

(1) 親睦事業 ポウリング大会・ビアパーティの開催結果について

(2) 第六回電気工事技能競技全国大会について

(3) 第二十三回道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦について

3月14日 渡島支部会議

28日 低圧電気取扱特別教育(組合会議室)

29日 二十六名受講 講師伊藤事務局長)

4月2日 西部支部会議

13日 北海道電力関連工事安全協議会道南配電部

会定例協議会に伊東副理事長出席(北電

NW道南統括支店)

15日 定期健康診断(組合二二六名受診)

17日 道工業組合第一回役員会に大倉理事長・土

20日 谷副理事長出席(道電気会館)

全日 北電NW・道工業組合本部連絡協議会に

全日 大倉理事長出席(道電気会館)

全日 函館高等技術専門学院入学式・後援会総会

全日 に伊藤事務局長出席(函館高等技術専門学

院)

22日 家庭用エアコン据付工事講習会(サンリフ

23日 レ函館九名受講 講師ダイキン工業)

24日 東部支部総会

全日 八雲支部総会

全日 第一回総務委員会

全日 ホームページ・いなづま編集委員会

5月7日 組合期末監査

全日 第一回役員会

12日 道工業組合監査に土谷副理事長出席(道電

気会館)

全日 道工業組合第二回役員会に大倉理事長・土

谷副理事長出席(道電気会館)

12日 第二種電気工事士(上期学科)受験準備

14日 講習会(ポリテクセンター十名受講)

20日 北部支部総会

全日 東部支部会議

全日 西部支部会議

22日 渡島支部総会

全日 江差支部総会

26日 第二回役員会

全日 第七十八回通常総会(組合三階大会議室

本人出席四十七名)

27日 八雲支部会議(書面開催)

29日 支部合同電設工業展研修旅行(参加者合計

31日 三十一名)

6月5日 青年部通常総会(組合会議室)

全日 八雲支部会議(書面開催)

9日 道工業組合通常総代会に大倉理事長ほか総

代九名・伊藤事務局長出席(札幌ビューホ

テル大通公園)

全日 道工業組合第三回役員会に大倉理事長・土

谷副理事長出席(札幌ビューホテル大通公

16日 園)

フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

17日 (組合会議室四名受講 講師高井理事)

二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全

19日 技能講習(組合会議室・北電NW宮前実

習場六十四名受講)

第三回役員会

全日 北工連絡会・連絡協議会(組合会議室北

電二名・北電NW八名・組合九名出席)

23日 低圧電気取扱特別教育(組合会議室十三

24日 名受講 講師伊藤事務局長)

27日 第五回電気工事技能競技北海道大会(札幌

高等技術専門学院)

27日 第一種電気工事士(上期技能)受験準備

29日 講習会(ポリテクセンター四名受講)

全日 第一回事業委員会

全日 港まつり担当特別委員会

7月1日 函館工業高校インターンシップ現場実習(組

3日 合員四事業所、生徒三十五名)

2日 全道事務局長会議に伊藤事務局長出席(道

電気会館)

7日 業務用エアコン据付工事講習会(北電NW

8日 道南統括支店三名受講 講師ダイキン工

業)

7日 低圧検満工事合同安全パトロール(北電N

W道南統括支店二名・組合二名・施工者二社)

9日 低圧検満工事合同安全パトロール(北電N

W道南統括支店二名・組合二名・施工者五社)

11日 第二種電気工事士(上期技能)受験準備講

13日 習会(ポリテクセンター九名受講)

13日 函館港まつり「ワッショイはこだて」参加

13日 団体責任者会議に伊藤事務局長出席(サン

リフレ)

14日 道工業組合臨時役員会(書面開催)

18日 親睦事業ポウリング大会・ビアパーティ

(ポウリング大会の参加総数一一五名・ビ

21日 アパーティは雨天中止)

江差支部会議(書面開催)

22日 安全大会(サン・リフレ函館六十六名出席)

23日 低圧検満工事合同安全パトロール(北電N

W道南統括支店二名・組合二名・施工者五社)

24日 はこだてカルチャータイト(緑の島青年

部七名参加)

28日 江差支部安全大会(北電江差ネットワーク

センター十二名出席)

江差支部会議

お悔やみ

令和八年
三月十日 函館拓北電業(株)代表者
鈴木 雅博殿 ご逝去
三月十七日 阿部電気代表者
阿部 修殿 ご逝去
五月十一日 函館地方電気工事協同組合事務局主任ご尊父
鳴海 千良殿 ご逝去
五月二十三日 (株)東栄電気工業代表者ご尊父
嶋村 雅彦殿 ご逝去
六月二十日 (株)松山電気工業代表者ご母堂
國仙 洋子殿 ご逝去

全日 福島支部安全大会(北電福島ネットワークセンター六名出席)
31日 八雲支部安全大会(北電八雲ネットワークセンター十八名出席)
8月2日 函館港まつり「ワッショイはこだて」(二〇三名参加)
19日 第四回役員会
28日 第二十三回道工業組合親善ゴルフ倶楽部交流戦(真駒内カントリークラブ 空沼コース 十二名参加)
29日 第一回青年部例会
9月6日 第十二回はたらくのりもの大集合(港町埠頭II青年部八名参加)
8日 一級引込線工事士更新講習(組合会議室・北電NW宮前実習場II十七名受講)
14日 第一種電気工事士(下期学科)受験準備講習会(ポリテクセンターII四名受講)
16日 第二回総務委員会
全日

第七十八回

通常総会開催

令和八年五月二十六日(火)、第七十八回通常総会が組合会館で開催されました。出席状況は本人出席が四十七名、委任状出席七十九名、欠席三十一名でありました。

総会当日、午後一時三十分、伊藤事務局長より開会宣言、大倉理事長の挨拶の後、(株)ワタナベ電器の渡邊泰志氏(渡島支部)を議長に選出し議案の審議に入りました。

提出した議案については、

第一号議案
令和七年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分(案)について

第二号議案
令和八年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

第三号議案
令和八年度役員報酬について

第四号議案

令和八年度組合借入金残高の最高限度額の決定について

第五号議案

令和八年度一組合員に対する貸付け(手形の割引を含む。)又は一組合員の債務保証のためにする

最高限度額の決定について

第六号議案

北海道電気工業事業工業組合総代及び推薦委員の選出について

を上げし、

第一号から第六号議案まですべて原案のとおり可決されました。

総会の全議案は二時十分、渡邊泰志

議長の開会宣言をもって終了しました。

令和七年度は、ESCO事業の事務手数料を計上したことから昨年度を上回る増収増益となり、利用分量配当を工事金の三%で実施致しました。

令和八年度は、北海道電力ネットワークの工量基準が主に検満工事分で大きく好転したこと、組合が徴収する低圧検満工事手数料を改訂致しました。これにより、組合は今後、安定的な財政運営をすることが可能になると考えており、その財源の後ろ盾を得て、より良い組合員へのサービスを実現できるよう努めてまいります。

今後とも組合の事業運営に對しまして、組合員の皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。



親睦事

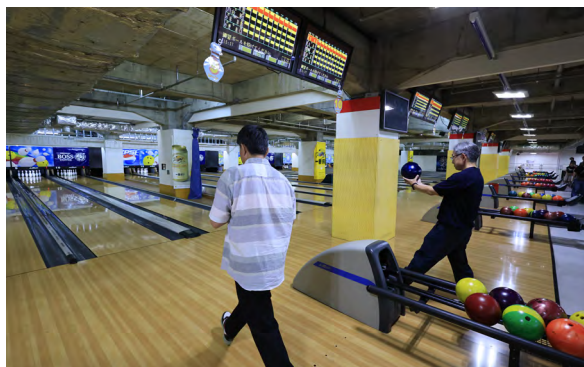
ボウリング大会・ビアパーティー

令和八年七月十八日(土)、支部の垣根を越えて、組合員相互と関係各社との親睦を図るため、また、特に我々の業界に關係する子どもたちに楽しんでもらいたいという思いで、当組合では初めての試みとなる、全組合員へご案内してのボウリング大会とビアパーティーを開催致しました。

イベントの実施を計画した当初は、組合『非公式』の委員会として、高井理事・作並理事が音頭を取って企画をスタートさせました。その後、役員会へ事業計画を提示して承認され、改めて組合が認める『公式』の委員会として活動することとなりました。組合が認可した後には、中野理事、(有)五稜郭カスガ五十嵐社長、青年部の鶴新、渋谷、工藤の三人の青年部副部長も委員会に加わっていただき、堂々と計画を練っていました。

全組合員へのご案内は、六月上旬。組合に關係する団体では、北海道電力ネットワーク(株)道南統括支店の皆さまにのみご案内致しました。初めての試みでしたので、ご参加いただける方が少ないのではないかと不安ではありましたが、ボウリング大会の参加総数はスタッフを含め

一一五名、そのうち幼稚園児から高校生までは四十一名のご参加をいただきました。ちなみにビアパーティーは、申込総数一一四名、うち幼稚園児から高校生までは三十名の予定でした。



ウルサンシャイン、ビアパーティーは同じく函館市梁川町のホテルテトラ屋上ビアガーデンを予定していたので残念ながら、ビアパーティーは中止となってしまいました。ビアパーティーのみご参加の方もいらっしゃったので、大変口惜しい思いでありました。

さて、ボウリング大会は、優勝を奪いにきた本気(?)のボウラーや家族サービスのお父さん、組合員のお子さんとその友だちという面々で、二ゲームの合計スコアで競います。当組合大倉理事長と北電ネットワーク(株)道南統括支店長よりご挨拶と始球式を行っていただき、ゲームのスタートです。優勝は北電ネットワークの中田さんで、二ゲーム合計スコアは三〇三、準優勝は北興通信の伏見さんでスコアは二八八、第三位は我らが伊東副理事長でスコアは二八七でした。

青年部は今まで組合主催の各イベントで、フットワーク軽く実行部隊として活躍いただけてきました。ともすれば、青年部に任せすぎていた実態もあるかもしれません。親子の思いは同じだと信じておりますので、今後は親も子もなく、同じ目的に向かってともに汗をかけたらと思っております。

このイベントにご参加いただいた皆さま、ご参加いただきありがとうございました。組合は、関係各社の親睦や子どもたちへの取り組みを重要視しています。次年度以降も組合員相互の親睦と子どもたちが参加出来るイベントを検討していきます。ご案内の際は、ご参加のほど宜しくお願い致します。



令和八年度 安全大会

『電気使用安全月間』は、毎年八月に電気の安全な使い方の普及と電気事故の防止を目的として経済産業省で主唱している全国運動で、昭和五十六年から毎年継続して実施されておられ、全国各地で安全に対する様々な取り組みが行われています。

当組合でも『電気使用安全月間』に合わせ、七月中旬以降、組合本部・八雲・福島・江差の各支部にて安全大会を開催しました。

函館本部での安全大会は、函館市大森町のサン・リフレ函館にて六十六名が参加して開催され、来賓の北海道電力ネットワーク(株)道南統括支店の古西配電工事グループリーダーよりご挨拶を頂戴し、安全講話では、同じく、北海道電力ネット



ワーク(北海道南統括支店の花田配電工事グループ副長から『安全について』と谷口特定社会保険労務士からは『下請法について』と題してそれぞれご講話いただきました。特に下請法は、本年一月から改正され、『中小受託取引適正化法(取適法)』と名称も内容も改められました。我々建設業では、建設業法で規律されており、工事に付随する委託行為は取適法の対象となる可能性があるので、注意が必要です。

最後に青年部の越田恭平氏(越田電気)が安全宣言を行い、函館本部の安全大会が閉会しました。

また、福島支部と江差支部は七月二十八日、八雲支部は七月三十一日、各地区の北海道電力ネットワークセンターにおいて開催され、今年度の安全大会は終了しました。函館本部を含めた参加者の合計は、九十九社一〇二名でした。



就任ご挨拶



北海道電力ネットワーク株式会社
道南統括支店長
越智 直哉

函館地方電気工事協同組合の皆さまにおかれましては、日頃より電力の安定供給をはじめ、当社事業の運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私事ではございますが、本年六月二十五日付の人事異動により、北海道電力ネットワーク株式会社道南統括支店長として着任いたしました。歴史と伝統を有する函館・道南地域において、このような重責を担うこととなり、その使命の大きさに身の引き締まる思いしております。

さて、近年、電気事業を取り巻く環境は大きく変化しております。カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの導入拡大や設備の高度化が進む一方で、自然災害の激甚化への対応、高経年化設備の更新、さらには人口減少や人材不足への対応など、私どもが取り組むべき課題はますます多様化しております。

しかしながら、どのような事業環境の変化があろうとも、地域の皆さまへ安全かつ安定的に電気をお届けすることが、私ども一般送配電事業者に課せられた最も重要な使命であることに変わりはありません。道南の皆さまの暮らしや産業、医療、観光などを支える社会インフラとして、電力の安定供給に全力で取り組んでまいります。

その使命を果たすためには、北海道電力ネットワークだけではなく、日頃から地域の電気設備を支えておられる函館地方電気工事協同組合の皆さまとの連携が欠かせません。設備の新設・改修工事をもとより、停電復旧や災害対応、安全確保、人材育成に至るまで、組合員の皆さまには地域の電力インフラを支える

重要な役割を担っていただいております。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

また、人口減少や担い手不足は、私どもだけでなく電気工事業界全体に共通する課題であると認識しております。将来にわたり地域の電力インフラを維持していくためには、次の世代を担う人材の確保と育成が不可欠です。地域の関係機関や教育機関とも連携しながら、電気に関わる仕事の魅力発信や人材育成に努め、地域とともに持続可能な事業基盤の構築を目指してまいります。

私たちの暮らしに欠かすことのできない電気は、多くの関係者の皆さまの支えによって成り立っています。私自身、組合員の皆さまとの顔の見える関係を大切にしながら、現場の声にしっかりと耳を傾け、道南に根差した事業運営に努めてまいりたいと考えております。

地域の未来を支えていくため、今後も函館地方電気工事協同組合の皆さまと力を合わせ、安心して暮らし、働き続けることのできる道南地域を次の世代へ引き継ぐべく、電力インフラの維持・発展に努めてまいります。

最後になりましたが、函館地方電気工事協同組合ならびに組合員の皆さまの益々のご発展とご健勝を心よりご祈念申し上げますとともに、道南地域のさらなる発展のため、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

全支部合同電設工業展研修旅行

令和八年五月二十九日(金)～五月三十一日(日)、初夏の風が心地よい季節となり、当組合では、昨年に続き、半ば恒例となってきた全支部合同での研修視察旅行を三十一名が参加して実施致しました。

今回は、最新の技術動向を学ぶ専門的な視察から、自然との触れ合い、そして歴史への敬意を表する参拝まで、非常に濃密でバランスの取れた行程となりました。組合員相互の親睦を深めつつ、業界の未来を見つ

め直す大変有意義な機会となりましたので、ここにその様子をご報告致します。

最初の目的地は、最新の電気設備技術が一堂に会する東京ビックサイトでの『電設工業展』の視察です。会場に足を踏み入れると、熱気あふれる展示と活発な情報交換が行われており、参加者の期待が高まりました。会場内では、省エネルギー推進に向けた最新の設備機器や、脱炭素社会に対応するスマートエネルギー技術、さらに現場の労働環境を改善するための施工省力化資材や安全対策ツールなどが多数展示されていました。参加者はそれぞれの興味に合わせてブースを巡り、メーカーの担当者に積極的な質問を投げかけていました。日頃の施工現場で抱える課題に対するヒントを得ようと真剣な表情で資料を読み込む姿が見られ、業界の技術革新のスピードを肌で感じ取ると同時に、明日からの実務につながる多くの知見を得ることができました。

先進技術の学びに胸を膨らませた翌日は、富士の雄大な自然に抱かれた「富士サファリパーク」へと向かいました。昨日までの真剣なビジネスの雰囲気から一転、車窓から眺める富士山の美しさと迫力ある動物たちの姿に、参加者一同のリラックスした笑顔が弾けました。専用バスに乗り込んでサファリゾーンへ進むと、間近に迫るライオンやクマなどの猛獣、のびのびと過ごす草食動物たちのダイナミックな行動に歓声が上がりました。

普段は現場や経営で忙しい日々を送る組合員同士ですが、この時ばかりは童心に帰ったよう



うに盛り上がり、写真撮影や歓談を楽しみました。

豊かな自然の中でリフレッシュを果たすとともに、移動の車中も含めて世代を超えた親睦が大いに深まる時間となりました。

最終日、旅の締めくくりとして訪れたのは、長い歴史と荘厳な雰囲気、境内に一歩足を踏み入れると、静寂と洗練された空気が漂っている

した。参道を歩み、本殿にて英霊への参拝を行いました。今日の日本の平和と豊かな暮らし、そして私たちが電気工事というインフラ事業を通じて安心して産業活動を営むことができる基盤は、先人たちの尊い犠牲と努力の上に成り立っていることを改めて深く実感しました。感謝と敬意の念を捧げるとともに、地域の社会インフラを支える技術者・事業者として、未来の社会に貢献していく決意を新たにするとともに、静かで貴重なひとときとなりました。

今回の研修旅行は、電設工業展での「技術の最前線の学び」、富士サファリパークでの「親睦とリフレッシュ」、そして靖国神社での「歴史への感謝と誓い」という、非常に深みのある三つの体験を得ることができました。

最後になりますが、今回得た知識と深まった絆を糧に、今後も組合員一丸となって地域社会に貢献し、電気工事業界の発展に努めていく決意を新たにしました。来年度も全支部合同でのイベントを企画出来ればと思っております。ご案内の際には、ご参加のほど宜しくお願い致します。



函館工業高校電気情報工学科 インターンシップ

函館工業高校とのインターンシップが定例化したのは、平成十五年からのことで、当時は道立高校の職業学科に対し、職業観や勤務観を育むため、全ての生徒にインターンシップを実施しており、現在でも高校生就業体験活動推進事業実施要領により、各学校が関連する我々のような地元経済団体と連携してインターンシップ実施しております。

当組合が昨年度から立ち上げた、『電気工事業界人材確保事業』で昨年からは管内の函館工業高校以外の高校へもご挨拶させていただき、業界への就職を検討いただくよう進路担当の先生にお願いし、またお話しを伺っていると、我々の業界について想像がつかないことが多いと聞きました。地元への就職志向の生徒が多い学校に対しては、業界を知ってもらうことを目的に、『電気工事業界人材確保事業』の一貫で、より業界を身近に感じてもらえるよう、インターンシップの実施を検討してみても良いのではと思うところです。

さて、今年度のインターンシップは、七月一日を安全講話と北海道電力知内発電所と太平洋セメントの施設見学実習、七月二日～三日を組合員企業の現場実習という日程で実施されました。

電気情報工学科二年生三十五名中電気コース二十一名のうち八名の受け入れを当組合に要請され、四社の組合員企業にご協力いただきました。ご協力いただきました組合員の皆さまには誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

ご協力頂いた組合員

- 岩井電気工業株式会社
- 梶原電気工業株式会社
- 協同電気通信株式会社
- 株式会社新宮電気設備

函館まつり「ワッシヨイはっだて」

令和八年八月二日、開港一六七周年函館港まつりワッシヨイはっだて十字街・松風コースに当組合はお馴染みの電線マン音頭で参加いたしました。

私自身、数年続けて電線マン衣装を身にまとい参加させて頂いておりますが、毎年新たな出会い・発見があり、その年の楽しみなこととなっております。ここ数年、電線マンのファンですという方も増えてきており、ますますやる気ボルテージが満ちてきております。

今年度は電線マン八名で最前列を陣取り、ハッピー軍団を引き連れ、さらびやかな山車を先頭に沿道の皆様と一丸となり最高のパフォーマンスが出来ました。

また、本番前日、前々日には、青年部の仲間と共に山車の電飾取り付けを行いました。

毎年少しずつ電飾イメージを変え、少しでも目立つにはどのようにしたらいいか、部員と考え、今年は過去最高の山車が出来たんじゃないかなと思います。

八月二日パレード当日、午後五時〇〇分、二〇三名の参加者が集まりだし、おにぎりでお腹を満たし、アールコールでボルテージを最高潮まで引き上げ出発の時



を待ちます。

今年是我々組合の真後ろにGLAYのTERU軍団総勢約二五〇〇名が控えていたこともあり、少し明るい時間にスタートとなりましたが、それでも我々はTERU軍団をライバルと考え、人数では敵わないが盛り上がりでは負けないぞという意気込みでいよいよパレードをスタートしました。

今年のマイクを握るのは昨年同様、青年部副部長の工藤さんでした。工藤さんのマイクパフォーマンスでパレードは順調に進み、沿道の皆さんからの声援のおかげもありスタート直後から盛り上がりは最高潮でした。感動と興奮が冷めやらぬ中、無事ゴールにたどり着き、パレードの終了となり沿道の皆様にも参加者の皆様にも楽しんで頂けたのではないかと思います。

また来年度も皆様に楽しんで頂けるよう今から構成を考えていきたいと思っております。最後になりますが、ご参加いただいた組合員とそご家族の皆様、ご協賛いただいたおられます電材問屋各社並びにメーカー様各位に紙上をお借りいたしましたして厚く御礼申し上げます。今後も組合員の一人として、地域の伝統行事に積極的に関わり、次の世代へこの文化をつないでいけるよう努めてまいります。

函館地方電気工事協同組合 青年部

副部長 鶴崎 享兵



組合関連の資格と 特別教育について

現在、組合が展開している資格と特別教育について整理致します。

◎引込線工事士

取得要件：組合加入企業の従業者、電気工事士有資格者、フルハーネス型墜落制止用器具特別教育修了者

施工範囲：低圧計測器工事、単独引込線工事

新規講習実施時期：二月二十日～三月二十日の間

※北海道電気工業事業組合が所管する、組合という組織内のみ有効な資格。この資格を持つ従業者がいなければ、組合員は北海道電力ネットワークの施工会社認定を受けることは出来ない。

◎組合が実施している特別教育

- ・フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
- ・低圧電気取扱特別教育
- ・石綿作業従事者特別教育（来年実施予定）

特別教育とは、労働安全衛生法に基づき、事業者（会社）が従業者に受講させることが義務付けられている「安全衛生教育（作業許可のようなもの）」です。例えば、電気工事士資格を持ついても実際の低圧充電電路作業や点検作業を行うには、低圧電気取扱特別教育修了が必要となります。

組合は登録教育機関ではありませんが、特別教育は事業者が登録教育機関ではない外部に委託することが出来ますので、組合は積極的に実施していきたいと考えております。

このほかに「技能講習」という労働安全衛生法に基づき、一定の危険・有害な業務に就くために受講と修了が義務付けられた国家資格レベルの講習があります。「技能講習」は登録教育機関でなければ実施することができませんので、組合で実施することが出来ません。

参考までに、釈迦に説法ではありませんが、電気工事士などの「資格」と「技能講習」、「特別教育」の関係性を分類すると次の表のようになります。

三者の関係性	特別教育	技能講習	資格
	下位	中位	上位
取得または修了方法	特別教育の受講	技能講習を受講し修了証交付	免許試験に合格し免許証交付
実施機関	事業者または外部機関（登録なし）が実施	都道府県労働局の登録教育機関で	指定試験機関で受験

前述の三つの特別教育以外に我々電気工事会社に関係するところでは、高圧・特別高圧電気取扱業務特別教育をまだ実施しておりませんし、高所作業車についてもしばらく実施しておりません。講師人材を養成し、環境を整え、将来的には実施出来るよう努めてまいります。

また、我々の上部団体、北海道電気工事業工業組合が所管する引込線工事士運用要領についても近年の改定は増改築でやり過ぎた結果、いびつで分かりにくくなっていると思いますので、組合員にとって分かりやすく、有益な内容となるよう要領を増改築ではなく建て替えるイメージで積極的に提言していきたいと考えております。

組合の定款には、『組合員の経済的地位の向上を図ることが目的として記載されています。個々の組合員の経済的地位の向上が図られることが業界の発展につながります。個々の組合員の発展には人材と教育が最も重要な事項と考えており、定款の目的が達成出来るよう努めてまいります。』

組合員の異動

◎ 代表者の変更 (新) (旧)

一、 樺電工業(株) 五郎谷 優 平沼 冠三

代表取締役

一、 函館拓北電業(株) 大久保 博 鈴木 雅博

代表取締役

一、 (株)北弘電社函館支社 佐野 大輔 田中 政実

函館支社長

一、 (株)北海電工函館支店 中村 匡秀 小栗 得一

函館支店長

住所変更

一、 日道電建(株)道南営業所

(新) 函館市桔梗(五丁目三五―一)

(旧) 函館市昭和(三丁目三五―一六西興ハイツ二

脱退

一、 阿部電気 令和八年四月二十日

一、 (有)Y・B 令和八年六月三十日

編集後記

「百聞は一見にしかず」、そして「論より証拠」――昔からよく使われる言葉ですが、前述の記事にあるように、今回の東京ビッグサイトで開催された電設工業展に行ってきた、この二つの言葉の意味をつくづく実感することになりました。

今の時代は本当に便利で、パソコンやスマホで検索すれば、何でもすぐに調べることができます。新しい工具や機材のカタログ、詳しい使い方、作業の動画までもが、指先ひとつで画面に出てきます。わざわざ遠くまで出かけなくても、デスクにいながら最新の技術について「知ったような気持ち」になれる時代です。これはこれで大変便利ですし、日頃の仕事の中でどれだけ助けられているのかわかりません。

しかし、そうやってネットで画面を見ているだけでは分からないことが、世の中にはたくさんあるのだと痛感しました。展示会場に一步足を踏み入れた瞬間、そこには画面越しでは絶対に伝わらないすごい熱気がありました。

広い会場には、最新のビス一個、圧着端子から高所作業車まで、見たこともないような設備や工具がずらりと並んでいました。カタログの写真や数値だけを見

ていたときは「ふーん、こういう商品が出たんだな」程度にしか思っていなかったものが、実際に目の前に立つと全く違って見えます。実物の大きさや手触り、重さ、そしてブースで説明してくれるメーカーの方々の情熱(営業?)がダイレクトに伝わってきました。実際に最新の工具を手で触らせてもらい、使い心地を確かめながら疑問に思ったことをその場で質問できたことは、ネットの検索結果とは比べものにならないほど深く心に残りました。やっぱり「本物」を自分の目で見て、手で触ってみることに勝る勉強はないのだと感じました。

私たちが毎日向かい合っている現場も同じではないでしょうか。どんなに図面やマニュアルで確認していても、実際の現場はひとつとして同じ条件はありません。画面の上の情報だけで判断せず、自分の五感で現場を確かめることが、事故のない安全な作業や良い仕事につながるのだと改めて気づかされました。そして何より、若い技術者(これからなる人も含め)のみなさんに、積極的にこのような展示会の場に参加してもらうことには本当に大きなメリットがあると感じています。

画面上の情報だけでなく、若い時期に本物の最新技術や大きなスケールの展示に触れ、会場の活気を肌で体感することは、本人の視野を大きく広げてくれます。仕事へのモチベーションが高まり、新しい道具や施工法への興味関心が湧くことで、技術の上達や安全意識の向上にも直接つながっていくのではないのでしょうか。会社や組合としても、若い世代にこうした機会を提供していく価値は非常に大きいと思います。

ネットの利便性をありがたく活用しながらも、今回実感した「自分の目で見て触れる大切さ」を忘れずに、それぞれの会社や現場において、日々の仕事に活かしていければと思います。(H・T)

題字 小寺 寛一(第二代理事長)

発行所 函館地方電気工事協同組合
編集 いなづま編集委員会
住所 函館市日乃出町7番22号
印刷所 龍文堂印刷株式会社

あしたの光で “ごこちよい” を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道支店函館営業所

☎ 040-0001 函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル3階

TEL 五一一六〇〇二
FAX 五一一六〇〇二

Panasonic

パナソニックエレクトロニクス株式会社

北海道電材営業部
北海道電材営業所函館営業課

☎ 041-0808 函館市桔梗三丁目三十四一六
TEL (0138) 四七一六三三三



河村電器産業株式会社

北海道支店函館駐在所

☎ 040-0011 函館市本町六一五 協和函館ビル3階
TEL (0190) 六五二九一九〇三八
☎ 060-0002 札幌市中央区北二条西四丁目一番地
札幌三井JPビル14階
TEL (0190) 六五二九一九〇三八



ISHIGAKI
ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス

石垣電材株式会社

本社 060-0006 札幌市中央区北六条西一三丁目一番地
☎ (011) 二一〇一五二二番
函館営業所 041-0824 函館市西桔梗町五八九番地三二五
☎ (0138) 四九一六二二番
八雲営業所 049-3104 二海郡八雲町内浦町二三四一五
☎ (0137) 六三一三二六九番

未来環境を語る・造る

エミヤエアパートナーズ株式会社

函館営業所

☎ 041-0824 函館市西桔梗町五八九一四九
電話 四八一五七五一(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽



TANAKA CO., LTD

情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社

函館営業所

☎ 040-0072 函館市亀田町一三番八号
電話 四〇一〇八〇〇
本社・東京 営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸



新 光 照 明

☎ 042-0934 函館市広野町五番九号
TEL (0138) 五五一〇六三(代)
FAX (0138) 五五一〇八一〇